

30W-pm07

Helicobacter pylori に対する百草の抗菌活性の検討

○所 俊志¹, 北川 雅一¹, 杉山 剛志¹, 森 裕志¹ (岐阜薬大)

【目的】*H. pylori* の除菌には、クラリスロマイシン(CAM), アモキシシリン(AMPC) およびプロトンポンプ阻害剤の3剤併用が推奨されているが、これに抵抗性を示す *H. pylori* の存在も知られている。百草はオウバクを原料に製造される民間薬で、整腸薬として用いられている。我々は、百草の *H. pylori* に対する抗菌活性を *in vitro* で検討し、昨年の本学会で CAM や AMPC とは異なる作用機序で *H. pylori* に対する抗菌活性を示すことを報告した。百草を *H. pylori* の除菌に応用する場合、従来の薬剤と併用して除菌を行うことが想定される。そこで、基礎的検討として、CAM および AMPC の抗菌活性に及ぼす百草の併用の影響を *in vitro* で検討した。

【方法】供試菌は *H. pylori* IID3023 とし、37°C、微好気性条件下、5%ウシ血清を含むブルセラ培地で培養した。百草は水に溶解して遠心し、上清をフィルター濾過 (0.22 μm) して検体とした。抗菌活性は軟寒天培地を用いたマイクロプレート法で測定した。菌の増殖は 595 nm における吸光度値で評価した。

【結果および考察】CAM と AMPC の併用による抗菌活性を種々の濃度の組み合わせで検討したが、抗菌活性の増強はみられなかった。また、百草と CAM または AMPC を併用した場合についても抗菌活性の併用による増強および減弱はみられなかった。したがって、百草を併用しても CAM および AMPC の除菌効果を減弱することはないと考えられる。しかし、除菌効果が増強するとされる CAM と AMPC の併用によって *in vitro* で抗菌活性に増強がみられない理由は不明であり、CAM と AMPC の併用効果、および百草を抗菌薬と併用することによる除菌効果の増強の有無は *in vivo* で検討する必要がある。